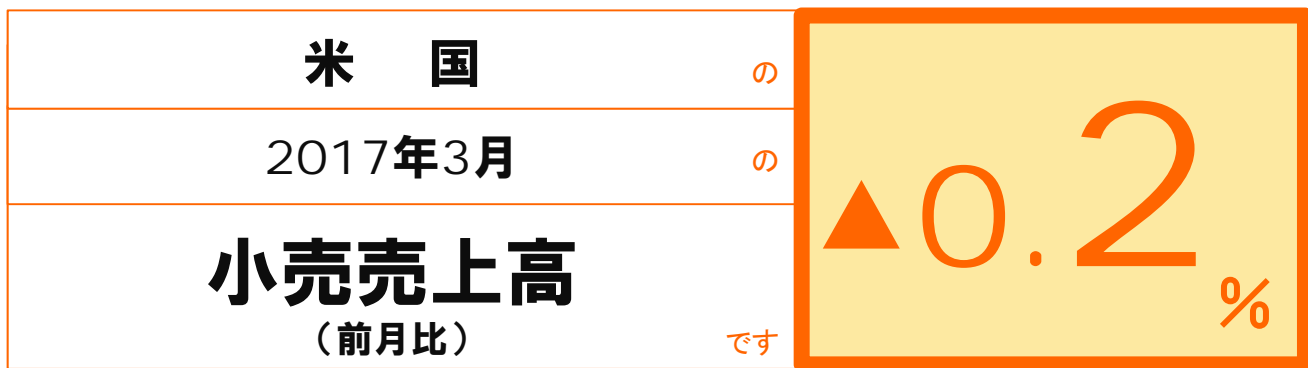


ナンバー・ナンダー

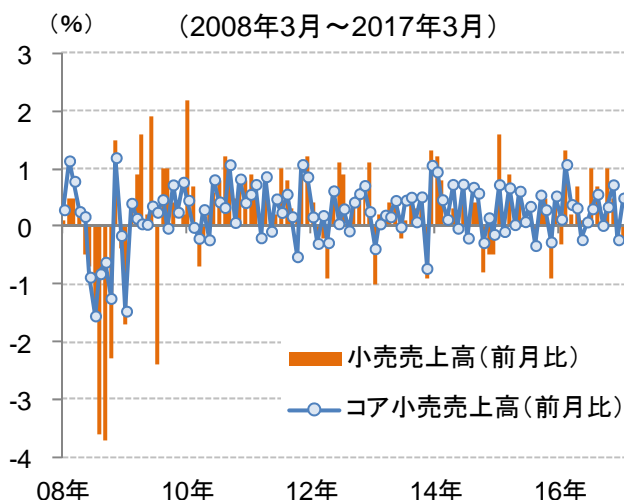


米商務省が14日発表した3月の小売売上高は、市場予想通り、前月比▲0.2%となりました。また、2月は当初発表の+0.1%から▲0.3%へ下方修正されたため、2カ月連続のマイナスとなりました。一方で、コア売上高は前月比で+0.5%となり、前月のマイナスから持ち直しました。

小売売上高は、百貨店など小売・サービス業、約5,000社の月間売上高をまとめた指標で、米国のGDP(国内総生産)の約70%を占める個人消費の動向を知る上で重要な指標とされています。自動車販売や同部品の占める割合が高いのが特徴です。同指標は、GDP概算の資料などに幅広く利用されており、特に自動車・ガソリン・建材・外食を除いたコア売上高は、GDPの算出に使用されています。

内訳をみると、3月は自動車やガソリン、建材などが大きく減少しました。主な要因として、ガソリンの値下がりや、悪天候による建設作業の停止、政府による税還付の遅れ、「イースターシフト(昨年は3月だったイースター休暇が、今年は4月となった)」などが影響したとみられます。一方で、電子・家電は+2.6%で2015年6月以来、衣料は+1.0%で2016年2月以来の大きな伸びとなりました。堅調な雇用環境などから米国経済は引き続き緩やかな成長基調を維持していることとみられることや、4月に入って、ガソリン価格が上昇していることなどから、小売売上高の弱さは一時的なもので、4月以降回復するとの見方もあります。

米小売売上高の推移



米失業率の推移



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。